



MRI 三菱総合研究所

証券コード：3636

2025年9月期

中間報告書

2024年10月1日 → 2025年3月31日



代表取締役社長

藪田 健二

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素格別のお引き立てとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1970年の創業以来、産官学との幅広いネットワークや政策・制度への理解、先端技術に関する科学的知見などの強みを活かし、社会やお客さまが抱える課題解決に取り組んでまいりました。

「中期経営計画2026」の2年目に当たる当年度は、DX事業の成長による規模拡大、基幹事業の質の改革と収益性向上、次世代事業の選択と集中、事業構造転換の加速などに取り組んでまいりました。しかし業績面では、シンクタンク・コンサルティングサービスセグメントにおける受注の出遅れや、ITサービスセグメントにおける不採算案件発生等の影響をばん回しきれず、第2四半期は前年同期比減収・減益の決算となりました。これをふまえ、当年度の業績予想も増収増益から増収減益に下方修正いたしました。こうした厳しい状況を厳粛に受け止め、下期以降も収益力強化に向けた諸施策展開にスピードを上げて取り組んでまいります。

なお、中間配当は期初予想どおり1株当たり80円（前期比同額）といたします。

社会課題が複雑化するなか、当社グループが果たす社会的役割やお客さまからの期待はますます高まっていると捉えております。社会課題解決を経営理念の中核に据え、シンクタンク・コンサルティングとITサービスを事業の両輪とする当社の特長に磨きをかけるとともに、産官学との共創を通して、より大きな社会価値を生み出し、豊かで持続可能な未来の実現に貢献してまいります。

ステークホルダーのみなさまには変わらぬご理解・ご支援を賜りますとともに、当社グループの今後の発展にご期待いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

未来を問い続け、変革を先駆ける

当社は「社会課題を解決し、豊かで持続可能な未来を共創する」ことを使命に、社会変革を先導する事業創出や社会実装を進めています。

事業を通じた社会課題解決

DXで救命率向上を目指す取り組みを延岡市で推進



- 宮崎県延岡市では、広大な市域に離島や山間部を擁し、救急搬送時の現場到着や病院搬送の時間短縮が課題となっていました。
- 救急現場のデータ連携と「見える化」を推進し、課題の解決を目指しています。
- これに当社は同市と連携して取り組み、2023年春から「救急モビリティ運行管理システム」が稼働しました。
- 延岡市では「空飛ぶクルマ」の救急業務への活用を検討しており、稼働中のシステムと空飛ぶクルマを連携させることによる、救急搬送時間短縮等のさらなる課題解決実現を目指しています。

社会課題解決における オピニオンリーダーとして【防災】

東北大学と三菱総研が世界の防災力強化に向け国際標準※開発



- 国内外で自然災害が頻発し被害が拡大するなか、世界で防災に関心が高まっています。
- 2015年には、仙台市で国連防災世界会議が開催され、「事前防災」の重要性などを提唱した「仙台防災枠組」が採択されました。
- この枠組をふまえて、東北大学と当社は、2020年度から経済産業省事業などを通じて防災分野の国際標準の開発を進めています。
- このたび、東北大学が主導して開発した、防災の考え方が国際規格として発行されました。
- 今後さらに具体的な国際標準を開発し、災害リスクの低減を通じた国際貢献や、日本の防災産業の発展などにも寄与してまいります。

※スイス・ジュネーブに本部を置く国際標準化機構 (ISO) が制定する規格で、世界で同じ品質・水準のサービスなどを提供できるようにするための国際的な基準のこと

社会課題解決における オピニオンリーダーとして【カーボンニュートラル】

大阪・関西万博で電気自動車 (EV) のワイヤレス給電を実証実験



- ワイヤレス給電は、ケーブルをつなぐずにEVに充電できる技術で、EV普及の起爆剤として期待されています。
- 2024年6月、普及啓発等を目的に「EVワイヤレス給電協議会」が設立され、当社はその発起人の1社で、幹事企業となりました。
- 現在開催中の大阪・関西万博で、走行中ワイヤレス給電の実証実験が進められています。

IRメール 配信サービス登録受付中

下記メール配信サービスにメールアドレスをご登録いただくことで、当社からのニュースリリース、決算発表、そのほかIRに関する情報をタイムリーにお受け取りいただくことができます。

https://ir.mri.co.jp/ja/delivery_mail.html



生成AI

特集

世界的に注目を集めている「生成AI」。そもそも、「生成AI」とは？当社は、どう関わっているのでしょうか？当社で、AI関連を担うビジネス&データ・アナリティクス本部長の本田えり子が説明します。



Q 生成AIって何？

A 人工知能 (AI) の一つで、文章や画像、音楽などを自動で作成する技術のことです。最近では、人間が作ったように自然で質の高いものを作れるようになっており、創作や研究活動など、さまざまな場面で活用されています。

Q どうして生成AIが注目されているの？

A 誰でも簡単に使えて、仕事や作業の効率を大幅に上げられることに加え、社会全体に大きな影響を及ぼすと考えられているからです。これまでのAIは、囲碁のチャンピオンに勝った「AlphaGo」のように、ある決まった分野で力を発揮していました。生成AIは、作文、描画、プログラミングなど、多様に活用できます。さらに、特別な知識がなくても手軽に操作でき、多くの人が使えるのが特徴です。そのため、人間が得意とされてきた「知的作業」を根本から変える可能性があります。仕事や趣味、教育などにとどまらず、社会全体に影響を与えていると考えられています。

Q 三菱総研は生成AIの活用にとどのように取り組んでいるの？

A シンクタンクやコンサルティングの仕事は、調べることや考えること、新しいアイデアを生み出すことが中心で、生成AIの影響を大きく受けます。これを見越して、当社は2022年以前から、業務でのAI活用に取り組んできました。そのなかで開発した調査サポートツール「ロボリス※」は、調査時間を最大で80%減らすことができます。販売を始めたところ、商社や金融機関、大手企業、中央省庁などに採用いただきました。また、「ロボリス」で集めた情報による影響を分析するAIも開発中です。分析まで自動化することで、意思決定のスピードを速められます。

※ロボリスの詳細はこちら
<https://www.mri.co.jp/service/robot-research.html>



Q AIに人間が操られそうで怖い気もします。

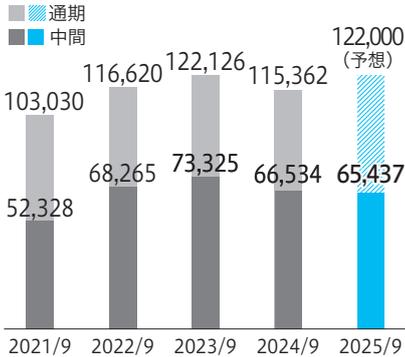
A 同様の懸念は、世界的に広がっており、その対応策の検討が進んでいます。人間がAIに操られないようにするためには、人がAIをどう使いこなすか、というルールづくりと、技術的な対策の両方が重要です。世界では、AIのリスクに対応するため、法律やガイドラインづくりが進められており、日本でも民間主導で自主規制が広がっています。当社も2019年にAI利用に関するガイドラインを定め、随時改訂しながら取り組んでいます。また、生成AIが誤った情報を出さないよう、当社のサービスにもチェック機能を導入するなどの具体的な対応もしてきました。AIは誰もが簡単に使えるとても便利なツールとなっています。一方で、AIに依存しすぎて、自ら考える力が衰えていくことがないようにしなければなりません。まずはご自身で体験しながらも、AIが出す結果をすべてうのみにせず、常に疑いを持つ心構えが大切でしょう。



決算ハイライト

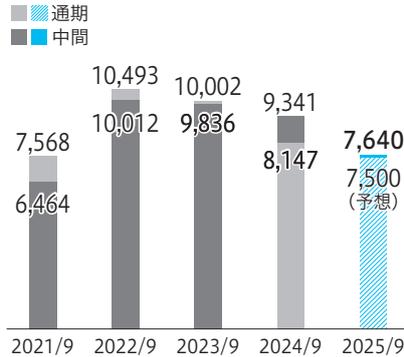
売上高

(単位:百万円)



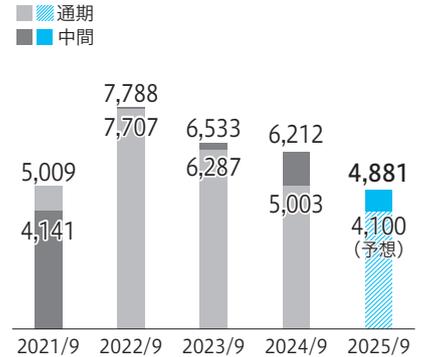
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:百万円)

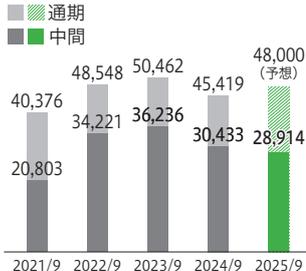


セグメント別業績

シンクタンク・コンサルティングサービス

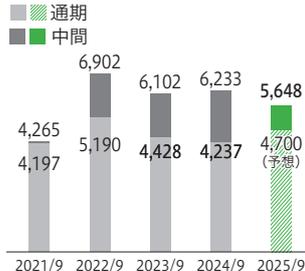
売上高

(単位:百万円)



経常利益

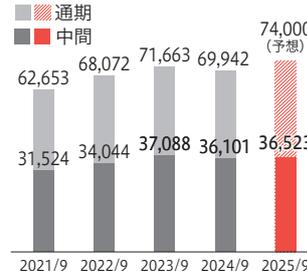
(単位:百万円)



ITサービス

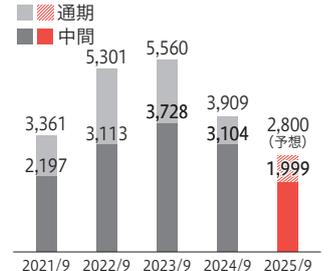
売上高

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



株主還元について

継続的な安定配当を基本に、業績や将来の資金需要、財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ決定しています。連結配当性向は40%を目安にしています。

※2024年9月期まで普通配当で12年連続増配

1株当たり配当金/配当性向

■ 1株当たり配当金(円) ● 配当性向(%)



美術館招待券のご利用対象施設拡大!

美術館招待券は、今回からご利用先をこれまでの静嘉堂文庫美術館、東洋文庫ミュージアムに加え、「三菱みなとみらい技術館(神奈川県横浜市)」の3施設に拡大いたします。詳しくは同封の「施設共通利用券」をご覧ください。

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月

基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日 9月30日
 期末配当金支払株主確定日 9月30日
 中間配当金支払株主確定日 3月31日
 (上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ定められた日)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 0120-232-711
 (フリーダイヤル9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

MRI 三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

TEL 03-6705-6001 www.mri.co.jp

